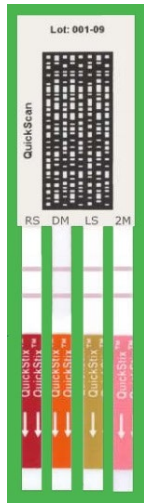


ラテラルフロー ストリップによるGMO大豆 同時検知



遺伝子組換え大豆

CP4 EPSPS (RoundupReady 2)

DMO (Dicamba 耐性 RR Xtend)

PAT/pat (LibertyLink)

2m EPSPS (LLGT27, Enlist E3) **NEW!**

NEW!



TotalTrait™ GMO大豆ストリップ

QuickStix コームが TotalTrait コームにアップデート!!

バルク試料を破碎して、水抽出後、ストリップコームを浸すだけ。
5分後、専用スキャナで含有率%を測定、あるいは目視で定性検知ができます。

	キット名	CP4 EPSPS RUR	DMO ジカンバ耐性 RUR Extend	PAT/pat LibertyLink	2m EPSPS GT27, Enlist
スキャナ 定量	TotalTrait コーム4	○	○	○	○
	TotalTrait コーム3	○		○	○
	QuickStix-SV コーム3	○	○	○	
	QuickStix-SV コーム2	○		○	
目視 定性	QuickStix-V コーム3	○	○	○	
	QuickStix-V コーム2	○		○	

CP4 EPSPS は RoundupReady(RUR)シリーズなど様々なスタック品種に導入されているグリホサート耐性タンパク遺伝子です。DMO は RoundupReady®2 Xtend に、CP4 EPSPS とともに重複して導入されているジカンバ耐性タンパク遺伝子です。

PAT/pat は、LibertyLink シリーズのグリホサート耐性タンパク遺伝子です。2m EPSPS は、LLGT27 や Enlist E3 などに PAT/pat などと重複して導入されているグリホサート耐性タンパク遺伝子です。

上記のキットは、これら遺伝子の組換え挿入により発現されたタンパクを、抗体ラテラルフロー法により検出します。



GM 含有率%の測定には QuickScan II リーダーシステムが別途必要です。

また、LibertyLink、GT27、Enlist E3 の精確な測定には、2mEPSPS のストリップが必要です。

TotalTrait/QuickStix コーム GMO 大豆ストリップ(ラテラルフロー一斉検出)

遺伝子組換え作物/GMO が発現する特異タンパクをメンブラン上の抗体で捕捉、バンドの発色により、その作物が該当 GMO を含むか否か、あるいは濃度を数分で判別するラテラルフローキットです。コームキットは、GMO 大豆のなかでも代表的な Event に対応した複数種類のストリップをコーム(楯)状に接合しています。大豆バルク試料を水で一括抽出した上清にコームごと入れ、5分後にあらわれたバンドで、含まれている組換えタンパクを一斉に検出します。

専用スキャナシステムで含有率%の測定が可能な SV コームと、目視により混入 Yes/No を判断する V コームがあります。IP ハンドリングのスクリーニング法として、あるいは遺伝子ベースの解析後の確認としてなども利用できます。

EnviroLogix 社の GMO ストリップテストシリーズには USDA GIPSA の性能認証を受けているものが数種あり、米国ほか世界で最も利用されているキットシリーズの一つです。

(製造 : EnviroLogix Inc.米国) rev.2021.09

商品名	◆ リーダー定量 100組/キット		
価格	TotalTrait コーム 4 大豆(RR,DM,LL,2m)	(3752ELBC14)	222,000 円
保管条件	TotalTrait コーム 3 大豆(RR,LL,2m)	(3752ELBD13)	168,000 円
	QuickStix-SV コーム 3 大豆(RR,DM,LL)	(3752ELBC13)	168,000 円
暗所 4~8°C	QuickStix-SV コーム 2 大豆(RR,LL)	(3752ELBC12)	114,000 円
吸湿・折曲厳禁	◆ 目視定性 100組/キット		
	QuickStix-V コーム 3 大豆(RR,DM,LL)	(3752ELBV13)	168,000 円
	QuickStix-V コーム 2 大豆(RR,LL)	(3752ELBV12)	114,000 円
	TotalTrait-SV コーム 4 大豆は 40 組のセットもあります(3752ELBE14) 105,000 円		
	LibertyLink,LLGT27,Enlist E3 の精確な測定には 2mEPSPS ストリップの TotalTrait が必要です		

製品内容	ラテラルフローストリップコーム、反应用ディスポカップ、スポイト=各 100 組
目的・用途	大豆中の各種 遺伝子組換え作物/GMO あるいはその発現タンパクの検出
原理	ラテラルフロー (イムノクロマト) 法

操作



前処理 (大豆バルク試料)

ー高速ブレンダーで均一に破碎。5 倍量の水で抽出し上澄み 12mL をとる。

ラテラルフローストリップの操作

- ①抽出した試料を反応容器にとり、ストリップ下端を浸す。
- ②5分後に下端を切り離し、ライン呈色をリーダー測定/目視する。

他に必要な試薬器材

水、Waring 製などの高速ブレンダーかミキサー等
含有率測定には別途 QuickScan II システムが必要です

感度等	QuickScan II 測定範囲	目視定性型	感度
CP4 EPSPS / RoundupReady2	0.25~3%		0.1%
DMO / RR2 Xtend	0.25~3%		0.25%
PAT/pat / Liberty Link	0.5 ~3%		0.5%
2mEPSPS / BalanceGT27	0.10~3%		—



←QuickScan II リーダーシステム (スキャナ & Windows10 PC 一体)
マイコトキシン検査用 TotalTox シリーズにも対応(580,000円)

◆単独GMキットもあります=(100本セット 65,000円)

RR大豆 (CP4 EPSPS) 定量用 (3751ELQ10B) 感度 0.25%

RR大豆 (CP4 EPSPS) 目視用 (3751EL010B) 感度 0.1%

